



つばさ

唐津市立北波多中学校

— 令和6年 7月号② —
第7号 文責 校長 渡辺 景輔

〒847-1201 唐津市北波多徳須恵 303
TEL 0955-64-2009

【学校教育目標】

「**自他を大切にし 互いを認め合い 共に高め合う生徒の育成**」

◇「命の大切さを学ぶ教室」を行いました◇

7月17日（水）、佐賀県警察本部広報県民課主催の「命の大切さを学ぶ教室」を北波多公民館において実施しました。

演題 「飲酒運転事故で娘を亡くした父親として」
講師 大庭 茂彌 様（糸島市在住）

平成11年12月、当時大学3年生であった大場さんの次女の三弥子さん運転の車が、飲酒運転でセンターラインを越えてきた対向車に衝突する事故が起きました。この事故により、大場さんは最愛の娘さんを亡くされました。そのご経験を通し、大場さんは現在まで、飲酒運転撲滅活動や遺族となった父親としての心情、命の大切さ等について、広く講演活動をされています。



本校の講演の中でも、「加害者をつくらないようにするためにこの活動を始めたこと」「子どもたちに命の大切さを伝えたいこと」「今生きていることが幸せで、多くの人の支えがあって生かされていること」をご自分の経験から話をさせていただきました。

◇平和集会を行いました◇

7月18日（木）、北波多公民館をお借りして、平和集会を実施しました。

79年前の沖縄戦の事実や平和とは何か、自分たちに何ができるのか等、深く考えることができていました。なにより全校生徒全員が、真剣に平和集会に参加できていたことが、大変嬉しく思いました。

日常では当たり前な生活を送れることで、平和について考えることは少ないかもしれません。平和とは何か…3年生は修学旅行で知覧、1・2年生もバス旅行で平和学習を行いました。様々な機会を通して、平

和学習を重ねていくことで、きっと何かを感じてくれていると思います。



◇夏季休業中の部活動について◇

各部、新チームとなって新たな目標に向かって、夏休みも練習に励んでくれると思います。夏休み中も基本的に午前中の練習とはいえ、猛暑の中での活動となることが予想されます。そこで、夏休み中の部活動については、次の通り熱中症等の対策を取り、活動を実施したいと考えています。

なお、部活動前に体調が悪い場合は、無理をして参加しないようお願いします。また、熱中症になりやすい原因として、睡眠不足・食事抜き等がいわれますので、規則正しい生活を心がけるようお願いします。コンディションを整えるのはスポーツの基本です。

※練習日程は各部で違いますので、各部の部活動計画に従ってください。

【熱中症対策について】

- ・こまめに十分な水分補給を。(日頃より多めに持たせてください。)
- ・30分に1回は休憩を入れる。(30分以上継続して練習をしない。)
- ・1回教育相談室・2階の学習室にエアコンを入れておく。休憩時間に利用させる。
- ・各練習場所で、WBGTが31を超えた時点で部活動は中止する。
- ・部活動終了後、最低20分は、エアコンの部屋でクールダウンをして帰宅させる。

以上のような対応を取りながら実施します。

◇1学期ご協力ありがとうございました!◇

朝、学校前の信号機のところに立っていると、たくさんの保護者や地域の方々が車の中から頭を下げていただいています。毎日、とてもありがたく感謝しているとともに、1日を気持ちよくスタートすることができました。大変ありがとうございました。本日、1学期が終了しました。保護者の皆様・地域の皆様には多々至らない点があったこととお詫び申し上げます。

さて、子どもたちは明日から長い夏休みに入ります。事故等なく、2学期も元気に登校して来ることを願っています。

【1学期終業式の話より】 37日間をどのように過ごしますか？

パラリンピックの競泳選手の河合純一さんの話をしました。河合さんは、15歳・中学校の時、完全に視力を失われました。河合さんは「教師になること」と「水泳で世界一になること」という2つの夢を持っていたそうです。目が見えないから何もできないと思いたくない、どうやったら夢を叶えることができるのか、真剣に前向きに取り組まれたそうです。その努力の結果、全盲では全国で初めての公立学校の社会科教師となられ、水泳ではパラリンピックに6度出場され、金メダルを5個も獲得されています。(目が見えないのに生徒の名前をどうやって覚えたのか？生徒の声を録音して、声と名前を一致させ覚えたそうです。)

その河合さんは、「1日の1%を未来の自分に投資しよう」ということを言われています。1日24時間の1%とは、「24時間×60分=1440分」「1440分÷100=14.4分」で、約15分です。この夏休みに1日15分、日頃できないことに挑戦してほしいことを伝えました。夏休み明け、自分は「1日15分これに取り組んだ!」と言えるものがあれば、きっと有意義な夏休みを過ごしたことになると思います。夏休み明け、生徒の皆さんにも聞いてみたいと思います。